

栃木県塩谷郡氏家町

押上における祝言のあいさつ

篠木 れい子

○はじめに

1. 対象地の地理的環境：氏家町は栃木県の概ね中央部に位置し、東は那須郡南那須町および喜連川町、西は鬼怒川をはさんで河内郡上河内村および河内町、北は荒川をはさんで矢板市および塩谷町、南は高根沢町と接している。宇都宮市からおよそ20Kmほど北で、関東平野の北限に位置する。調査地押上は国道4号線から西へ2Kmほど入ったところ。また、町の中心地からは4Kmほどのところである。
 2. 対象地の社会的環境：まとまりのある農業集落。最近では宇都宮市などへの通勤(会社員)も多い。
 3. 生業：主な産業は農業である。しかし専業は極めて少なく、宇都宮市など近隣の町へ通勤している。きわだった産業はない。
 4. 交通：塩谷町と宇都宮市を結ぶバスが一日に7往復ほど走っている。また、1.5KmほどのところにはJR東北本線蒲坂駅がある。
 5. 人口：1985年現在の氏家町の人口はおよそ25000人、世帯数は6000余り。押上の人口はおよそ1400人、世帯数は約180世帯である。
 6. 調査年月日：1990年11月26日
午前11時～12時40分
 7. 方言話者：長島元重 男 大正14年生(65歳)
 8. 調査者、調査場所：篠木れい子、話者宅
 9. 調査方法：質問法によった。アンケート法はとらなかった。
- 備考 調査地は無型アクセント地域なので、アクセントは記さなかった。

I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納まを持参した時、座敷で、その家の主人(新婦父親)に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○ホンジツワ オヒガラモヨロシク マゴドニ オメデトゴザイマス。
へケノミョーダイトシテ エイノーヒンオ モツテマイリマシタ。コレオ
ドーゾ オーサメクダサイ。アワセテ イッショー イクヒサ
シク オーサメクダサイ。本日は、お日柄もよろしく、まことに、お

めでとうございます。～家の名代として、結納品を、持って参りました。これを、どうぞ、お納め下さい。合わせて、一升、^{注2}幾久しく、お納め下さい。（老男→老男、試演）〈全年層〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉 〈稀〉

注1 結納はタルイレ(樽入れ)という。

注2 仲人は婿方と嫁方にそれぞれ立つのが一般的である。その二人の仲人が酒を5合ずつ持って来るので、合わせて1升となる。

2. その家の主人(新婦の父親)は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

○タイヘン ゴクローサマデゴザイマス。ツツシンデ ～ケノゴシンモツオ オオサメモーシアケマス。たいへん、御苦労さまでございます。謹んで、～家の御進物を、お納め申し上げます。（老男→老男、試演）〈全年層〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉 〈稀〉

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

○ゴケッコン キマッテ タイヘン ヨカッタデスネ。ご結婚、決まって、たいへん、よかったですね。（近所の人→老男、試演）〈新〉〈全年層〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉

○キクトゴニヨット コンタビワ オメデトーゴザイマス。聞くとこによると、この度は、おめでとうございます。（近所の人→老男、試演）〈全年層〉 〈上品〉 〈上待遇〉

○キマッタッチューケド ヨガッタネー。決まったというけど、良かったねえ。（近所の人→老男、試演）〈全年層〉 〈親〉

○イードゴガラ キマッテ ヨガッタネー。良い所から、決まって、良かったねえ。（近所の人→老男、試演）〈全年層〉 〈親〉

2. 嫁をもらう家的人是、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつをしますか。

○オガケサマデ。おかげさまで。（老男→近所の人、試演）〈全年層〉

III. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

○イードゴニ キマッテ ヨガッタネ。良い所に、決まって、良かった

ね。(近所の人→老男、試演) <全年層> <親>

2.嫁に出す家の方は、そのあいさつにに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○オガゲサマデ。おかげさまで。(老男→近所の人、試演) <全年層>

Ⅳ. 結婚式・ゴシキ(御祝儀)当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは(親戚以外)、どのようなあいさつをしますか。

1.新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

○ホンジツワ ドーモ オメデトーゴザイマス。本日は、どうも、おめでとうございます。(老男→老男、試演) <全年層> <上品>
<かしこまり> <上待遇>

○イーヨメサマ キマッテ ヨカッタネ。キョーワ ヨッバラ ヨバレッカラ。良い嫁様、決まって、良かったね。今日は、よっぱら、よばれるから。(老男→老男、試演) <全年層> <親>

○イーヨメサマ キマッテ ヨガッタネ。キョーワ ゴッツォサンニナリヤンス。良い嫁様、決まって、良かったね。今日は、御馳走さまになりやんす。(老男→老男、試演) <古> <かしこまり> <上待遇>

○イーヨメサマ キマッテ ヨガッタネ。キョーワ ヨッバラ ヨバレヤンスカラ。良い嫁様、決まって、良かったね。今日は、よっぱら、よばれやんすから。(老男→老男、試演) <古> <親> <上待遇>

1-2.父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○オガゲサマデ アリガトーゴザイマス。おかげ様で、ありがとうございます。(老男→老男、試演) <全年層> <上品> <かしこまり> <上待遇>

○オガゲサマデ アリガトーゴザンス。ナンニモ ネーキット ヒトツヤットコレ。御かげ様で、ありがとうございます。何にも、無いけれど、一つ やっておくれ。(老男→老男、試演) <古> <かしこまり> <上待遇>

○ホントニ ヨガッタヨ。ミッチリ ノンドコレ。本当に、良かった。みっちり、飲んでおくれ。(老男→老男、試演) <古> <親>

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○ホンジツワ オメデトゴザイマシタ。本日は、おめでとうございました。（老男→老男、試演）〈新〉 〈全年層〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉

○ゴダイギナコトデゴザンス。御大儀なことでござんす。（老男→オバサン、試演）〈古〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉

備考 昔ながらの祝言は30年ほど前まで行なわれていた。かつての結婚式は新郎の自宅で執り行なわれたが、式には新婦の両親は出席せず、花嫁にはオバサンが付き添っていた。上に記したあいさつは、そのオバサンに対してのものである。オバサンは実の伯母・叔母であったり、親類の人の中で格の高い女性が頼まれてなることもあったという。

2-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○オガゲサマデ アリガトゴザイマス。おかげさまで、ありがとうございます。（老男→老男、試演）〈新〉 〈全年層〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉

○ナンニモ ワガンネモンダガラ ミナサンモ ヨロシク ヒキマワシテオクンナショ。何も、分からない者だから、皆さんも、宜しく、引き回しておくなんしょ。（オバサン→老男、試演）〈古〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

昔も今も、調査地押上では近所の家へのあいさつ回りには、姑ではなく隣組長の婦人(昔はヨメミセバーサン〈嫁見せばあさん〉と言った)が新婦に付き添ってあいさつをする。

○～サンノ ヨメサンデスカラ ドーゾ ヨロシク オネガイシマス。～さんの、嫁さんだから、どうぞ、宜しく、御願います。（老女→近所の人、試演）〈新〉 〈全年層〉 〈上品〉 〈かしこまり〉 〈上待遇〉

○～サンノ ヨメサンダガラ ヨロシク オネガイシマス。（老女→近所の人、試演）〈新〉 〈全年層〉 〈上待遇〉

○コンド、～ンチノ ヨメサマデス。カオミセニ キヤンシタ。ドーゾ

ヨロシク。今度、～の家の、嫁様です。顔見せに、来やんした。どうぞ、宜しく。(老女→近所の人、試演) <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

2. そのあいさつに応じて、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

○ヨガッタネ。オチカズゲ シトコレ。良かったね。お近付け、してくれ。(近所の人→老女、試演) <新> <全年層> <上待遇>

○ワザワザ ゴクローザマデゴザンス。わざわざ、ご苦労様でござんす。(近所の人→老女、試演) <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

○ゴクローサンダネ。ご苦労さんだね。(近所の老女→老女、試演) <古> <親>

Ⅵ. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式に招かれた50歳台の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いのあいさつをしますか。

○イー ヨメサマダッタネー。ドーダイ オチズイダゲ。良い、嫁様だったねえ。どうだい、落ち着いたかい。(中年女→老男、試演) <全年層> <親>

○ゴダイギナコドダッタネー。オチズイダガネ。御大儀なことだったねえ。落ち着いたかね。(中年女→老男、試演) <古> <上品> <親>

2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○オチズイテ ヨガッタヨー。落ち着いた、良かったよ。(老男→中年女、試演) <全年層> <親>

○マー ナントガネ。まあ、なんとかね。(老男→中年女、試演) <全年層> <親>

Ⅶ. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦(あるいは両親)がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○ドーモ アリガトーゴザイマシタ。どうも、ありがとうございました。(老男→老男、試演) <新> <全年層> <上品> <かしこま

り> <上待遇>

○オーコド カゲヤンシタ。ナントガ ヤッテオリヤンス。大事、かけやんした。なんとか、やっております。（老男→老男、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○マーズマーズ ヨガッタネー。まずまず、良かったねえ。（老男→老男、試演） <全年層> <親>

Ⅷ. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○サトエ イッテマイリマス。里へ、行ってまいります。（若女→老男、試演） <新> <全年層> <上品> <かしこまり> <上待遇>

○オヒマオ クンナンショ。お暇を、くんなんしょ。（若女→老男、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○イットイデ。行っておいで。（老男→若女、試演） <新> <全年層> <親>

○ページニ イッテコ。マタ モドッテキナ。大事に、行ってこい。また、もどってきな。（老男→若女、試演） <古> <親>

Ⅸ. その他の場面でのあいさつ

1. 嫁入り道具を運ぶ際のあいさつ

1-1. 道具を選び出す際の運び人・ニザイリョー(荷裁量)のあいさつ

○エッテマイリヤンス。タシカニ ニモズ トドゲデマイリヤス。行ってまいりやんす。確かに、荷物、届けてまいりやす。（中年男・運び人→老男=新婦の父親、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇> <稀>

備考 ニザイリョーに頼まれることは、たいへん名誉なことであったという。

1-2. 道具を出す側のそれに対するあいさつ

○ドーゾ タノミヤンス。ソソーガ ネーヨニ オネガイシヤス。どう

ぞ、頼みやんす。粗相が、無いように、お願いしやす。（老男→中年男、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

1-3. 道具を届けた際の運び人のあいさつ

○～ゲノ ニモズオ モッテマイリヤシタ。オサメテクンナショ。～家の、荷物を、持ってまいりやした。納めてくんなんしょ。（中年男・運び人→老男＝新郎の親、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

1-4. 道具を受け取る側のそれに対するあいさつ

○ソレワ ゴダイギナコドゴザンシタ。サツソク オアズガリイタシヤス。それは、御大儀なことをごさんした。早速、お預かりいたしやす。（老男→中年男、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

1-5. 道具を届けたことを報告するカエリヘンジ(掃り返事)のあいさつ

○ブジニ オサメヤンシタ。ムゴーサマモ ヨロコンデオリヤンシタ。無事に、納めやんした。向こう様でも、喜んでおりやんした。（中年男＝運び人→老男＝新婦の親、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

1-6. カエリヘンジに対するあいさつ

○ソレワ ゴダイギナコドデヤンシタ。それは、御大儀なことやんした。（老男→中年男、試演） <古> <上品> <かしこまり> <上待遇>

2. 初めての里帰り・ヒザナオシのあいさつ

○ヒザクズシニ キヤンシタ。膝崩し注に、来やんした。（若男＝婿→老男＝嫁の親、試演） <古> <かしこまり> <上待遇>

注 ヒザナオシはヒザクズシともシンキヤク(新客)とも言う。シンキヤクは新しい語

2-2. 迎える側のあいさつ

○ソリヤ ヨガッタ。それは、よかった。（老男→若男、試演） <古> <親>

(群馬県立女子大学)